

令和7年10月2日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

新丸山ダム工事現場における自然由来の重金属(カドミウム) 水質試験結果等について(最終報)

令和7年9月12日記者発表「新丸山ダム工事現場における自然由来の重金属(カドミウム)の検出されました」において、簡易的な水質試験結果による測定値をお知らせしたところですが、第三者機関における分析においても「排水基準を超過する重金属(カドミウム)が検出」されましたのでお知らせします。

なお、応急対策として、大型土のう設置等(別紙1, 2)を完了しました。

1. 水質試験結果

■ 水質試験結果(JIS-K-0102)

採水箇所	分析項目	単位	排水基準値	測定値	判定
沈砂地内	ヒ素	mg/L	0.1	0.005未満	○
	フッ素	mg/L	8	3.27	○
	鉛	mg/L	0.1	0.005未満	○
	カドミウム	mg/L	0.03	0.039	×
沢(流入後)		mg/L		0.016	○

■ 水質試験結果(簡易的な水質試験) [参考: 令和7年9月12日記者発表]

採水箇所	分析項目	単位	排水基準値	測定値	判定
沈砂地内	ヒ素	mg/L	0.1	0.004	○
	フッ素	mg/L	8	0.3	○
	鉛	mg/L	0.1	0.004	○
	カドミウム	mg/L	0.03	0.05	×
沢(流入後)		mg/L		0.008	○

採水箇所は、別紙1の位置図のとおり
沢やダム湖において魚のへい死等の報告は確認されていません。

2. 配布先

美濃加茂市政記者クラブ、可児記者クラブ

3. 解禁日

指定なし

【問い合わせ先】

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

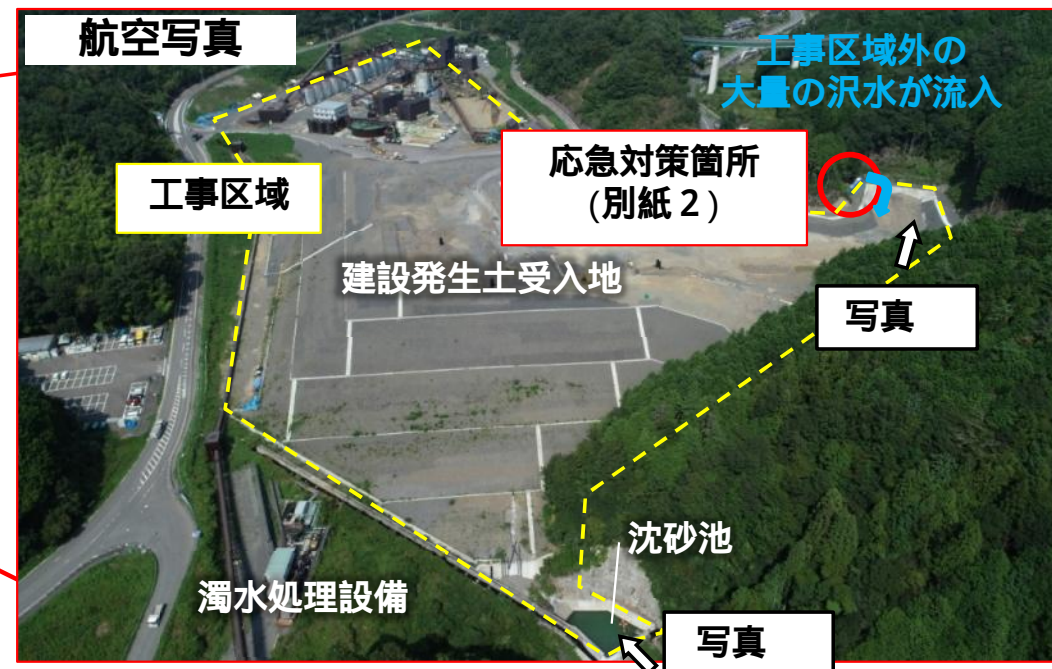
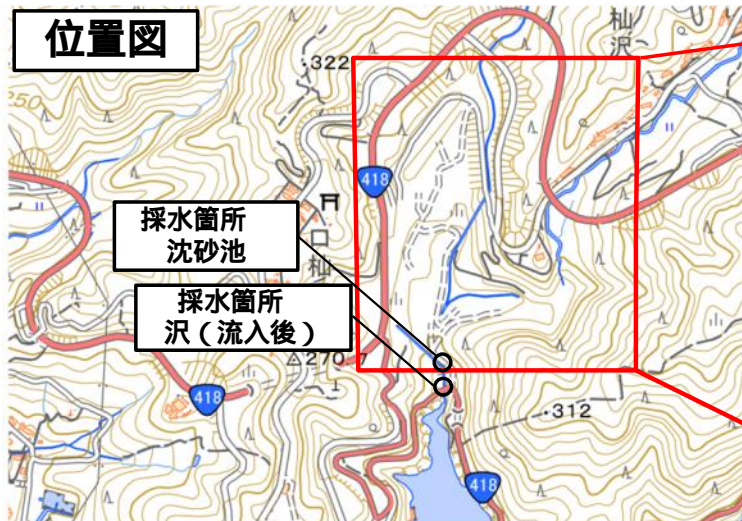
副所長

かげやま

蔭山 敦士

電話 : 0574-43-2780 (代表)

- 新丸山ダムの工事区域において、濁水処理前の水が沈砂池からオーバーフローしました。
- この要因は、局地的な大雨により工事区域外の大量の沢水が工事区域内に流入したためと推察されます。



工事区域外の大量の沢水が流れ込み、
濁水処理前の水が沈砂池からオーバーフロー



工事区域外の大量の沢水が工事区域内へ流入

- 工事区域外の沢水の流入防止対策として、大型土のう・ブルーシートを設置しました。
- 沢水をスム - ズに排水しやすいように、既存コルゲートパイプの改良を実施しました。

対策前



地中に浸透し、フィルター材を通過して埋設管路に導水



対策後

